

目的

- 浜田市（島根県）によれば、行政情報の利活用について「民間企業等がデータを活用しやすくする」ことを課題としている。
- RESASをはじめとした地域経済分析システム等は発展してきているものの、人口、予算等の行政情報は単に数字を羅列したExcel、PDFの公表に留まる。
- そこで、民間活動において、行政情報として何が有用か、どのような分析が必要かを調査し、民間活動に資する行政情報の利活用に関する方法を提案したい。
- 浜田市におけるPBLを行うことで、行政領域におけるデジタル経営人材として学生を育成することができる。

研究メンバー

- 熊田研究室（地域政策学部）
 - 熊田知晃 地域公共コース 准教授
 - 岩田朋弥 地域公共コース 1 年
 - 植田拓透 地域公共コース 1 年
 - 武田遥花 地域公共コース 1 年
 - 坪倉はるな 地域公共コース 1 年
 - 南波真央 地域公共コース 1 年
- 地域公共基礎演習（地域政策学部）
 - 地域公共コース履修生 7 名（除：上記 5 名）

地域公共基礎演習（担当教員：熊田知晃）

- 地域公共コースの学生が、地域公共コースの各教員の指導のもと、専門基礎科目や専門科目を履修するうえで基盤となる基礎的な知識やスキルについて学修する。具体的には、資料の探索と分析、レポートの作成やプレゼンテーションの技法などについて解説する。また、各学問領域がどのような歴史的背景のなかで誕生し、どのような課題を扱ってきたのか等について、基盤となる知識・思考法を学ぶ。地域公共基礎演習の履修を通して、地域公共コースの学生に求められる初歩的な知識を身に付ける。
- 本授業は、2年次以降に必要な思考法となる一次資料を収集・作成し、一次資料から読み取れることを分析・評価し、信頼できる二次資料を作成していくプロセスを学修していく。島根県内の具体的な行政課題について自ら考える力を養う。

授業内容

§ 1	「議論」を試みる	§ 10	調査目的の妥当性 (ゲスト講師②)
§ 2	制度記述の方法	§ 11	設問を考へる
§ 3	実態分析の方法	§ 12	設問の妥当性 (ゲスト講師③)
§ 4	問題意識の共有 (ゲスト講師①)	§ 13-14	設問・回答を設定する
§ 5-6	課題を調べる	§ 15	アンケートの完成
§ 7	調査目的を考へる		
§ 8-9	調査目的を設定する		

ゲスト講師①

- 2025年10月22日（§4 問題意識の共有）
 - 羽部和哉係長：浜田市総務部DX推進課DX推進係
 - 研究課題の共有
 - 浜田市の行政情報を利活用する実態の説明
 - 学生との質疑応答

ゲスト講師②

- 2025年12月10日（§ 10 調査目的の妥当性）
 - 鈴木悟専務理事：町田商工会議所
秋山亮事務局長：むさし府中商工会議所
 - 経営支援における行政情報の利活用状況の説明
 - 学生からの調査目的のプレゼンテーション
 - 学生との質疑応答

ゲスト講師③

- 2025年12月24日（§12 設問の妥当性）
 - 鬼木和浩課長（主任調査員）：横浜市にぎわいスポーツ文化局文化芸術創造都市推進部文化振興課
 - 横浜市、行政情報を扱う行政職員の説明
 - 学生からの設問のプレゼンテーション
 - 学生との質疑応答

調査計画

- 目的
 - 事業者の売上向上に資する行政情報の利活用の実態を明らかにする。
- 対象
 - 浜田商工会議所会員：約1,200

※令和3年経済センサス-活動調査によれば、浜田市の事業所数は3,110あり、約38.6%に相当する。

調査計画

- 方法
 - 浜田商工会議所が発行する会議所ニュースに質問紙・返送用封筒を同封し、下記のいずれかの方法で事業者に回答してもらう。
 - 紙媒体の質問紙に記入し、返送する。
 - 質問紙に記載のQRコードを読み取り、回答する。
- 調査期間
 - 2026年2月15～28日（14日間）

期待される調査結果

- 浜田市に事業所を置く事業者が行政情報を利活用している実態が明らかとなる。
 - 行政情報を利活用する人材の有無
 - 利活用する時期の違い（例：事業計画策定、起業等）
 - 役に立つ行政情報（例：人口、観光客数等）
 - 行政情報の利活用しにくさ（例：使いたい情報がない等）
 - 行政情報以外の情報収集源（例：本、マスメディア等）

残された課題

- 事業者が行政情報を利活用する状況は明らかとなったので、具体的にどのような行政情報をどのように加工して公開することが事業者にとって有益かを検討する必要がある。
 - 行政情報の種類、図示方法等の検討
- 行政情報を利活用するのは市民であり、事業者以外にも住民が存在する為、住民を対象とした行政情報の利活用の状況を明らかにする必要がある。
 - 浜田市民対象の行政情報の利活用の実態調査

成果の公表

- 2025年度島根県立大学熊田研究室研究成果報告会
 - 日時
 - 2026年3月22日（日）
 - 場所
 - 浜田ニューキャッスルホテル
2 F 宴会場
 - その他
 - 開催時間、参加方法等は熊田研究室HP（QR）で随時更新。





島根県立大学熊田知晃研究室 事業者アンケート

このアンケートの所要時間は5分程度です。現在、島根県立大学熊田知晃研究室では、浜田市の行政情報を事業者がより使いやすくするための分析を行っています。行政情報とは、国勢調査、経済センサス等の統計情報を意味します。このような情報にも基づきながら、浜田市では「統計はまだ」が提供されています。調査結果は、浜田市（島根県）への提案をする目的のみで管理・利用し、その他の目的で使用致しません。また、個人を特定するものでもありません。ご協力のほど宜しくお願い致します。

Q1 貴社の業種を教えてください。

- | | | | |
|----------------|----------------------|---------------------|--------------------|
| 1 農業・林業 | 2 漁業 | 3 鉱業・採石業・砂利採取業 | 4 建設業 |
| 5 製造業 | 6 電気・ガス・熱供給・水道業 | 7 情報通信業 | 8 運輸業・郵便業 |
| 9 卸売業・小売業 | 10 金融業・保険業 | 11 不動産業・物品賃貸業 | 12 学術研究・専門・技術サービス業 |
| 13 宿泊業・飲食サービス業 | 14 生活関連サービス業・娯楽業 | 15 教育・学習支援業 | 16 医療・福祉 |
| 17 複合サービス事業 | 18 サービス業（他に分類されないもの） | 19 公務（他に分類されるものを除く） | 20 分類不能の産業 |

Q2 貴社が常時雇用する従業員の人数を教えてください。

() 名

Q3 貴社が常時雇用する従業員の内、最も多い年齢層を教えてください。

- | | | | | |
|---------|--------|--------|--------|---------|
| 1 ~20歳代 | 2 30歳代 | 3 40歳代 | 4 50歳代 | 5 60歳代～ |
|---------|--------|--------|--------|---------|

Q4 貴社の代表（代表取締役、代表理事等）の誕生年を教えてください。

() 年

Q5 貴社の代表は起業する前から浜田市を知っていましたか。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

Q6 貴社の代表の出身地を教えてください。

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1 旧浜田市（浜田市） | 2 旧金城町・旭町・弥栄村・三隅町（浜田市） |
| 3 島根県内（除：浜田市） | 4 島根県外（) |

Q7 貴社の代表の最終学歴を教えてください。

- | | | |
|------|-------|----------|
| 1 大学 | 2 大学院 | 3 その他（) |
|------|-------|----------|

Q8 貴社には行政情報を分析する能力に長けた人材はいますか。該当する回答が複数の場合は、複数を選択してください。

- | | | |
|----------|-------|-------|
| 1 代表 | 2 従業員 | 3 いない |
| 4 その他（) | | |

Q9 貴社は浜田市の行政情報を利活用したことがありますか。該当する回答が複数の場合は、複数を選択してください。

- | | | |
|---------------|-----------|--------------|
| 1 はい（事業計画策定時） | 2 はい（起業時） | 3 はい（補助金申請時） |
| 4 いいえ | 5 その他（) | |

Q10 Q9で「はい（事業計画策定時）」、「はい（起業時）」、「はい（補助金申請時）」と回答した人に質問です。どのような行政情報を利活用したことがありますか。該当する回答が複数の場合は、複数を選択してください。

- | | | |
|--------|----------|-------|
| 1 人口 | 2 観光客数 | 3 交通量 |
| 4 地理情報 | 5 その他（) | |

Q11 Q9で「はい（事業計画策定時）」、「はい（起業時）」、「はい（補助金申請時）」と回答した人に質問です。利活用した行政情報は役に立ったと思いますか。

- | | | |
|-------------|----------|-----------|
| 1 そう思う | 2 ややそう思う | 3 どちらでもない |
| 4 あまりそう思わない | 5 そう思わない | |

Q12 Q9で「いいえ」と回答した人に質問です。行政情報を利活用したことがない理由を教えてください。該当する回答が複数の場合は、複数を選択してください。

- 1 必要に迫られなかった 2 探し方がわからなかった 3 使いたい情報がなかった
4 内容がわかりづらかった 5 その他（ ）

Q13 Q12で「内容がわかりづらかった」と回答した人に質問です。その理由を教えてください。該当する回答が複数の場合は、複数を選択してください。

- 1 専門用語が多い 2 情報が古い 3 データ形式が悪い
4 PCが使えない 5 その他 ()

Q14 貴社の代表は行政情報以外の統計情報を利活用していますか。

- 1 はい 2 いいえ

Q15 Q14で「はい」と回答した人に質問です。その情報源は何ですか。該当する回答が複数の場合は、複数を選択してください。

- | | | |
|------------|-------------------|-------|
| 1 本 | 2 マスメディア（新聞、ラジオ等） | 3 SNS |
| 4 業種団体のデータ | 5 その他（ ） | |

Q16 貴社は浜田市の行政情報が貴社の事業に必要な情報を提供できていると思いますか。

- 1 そう思う 2 ややそう思う 3 どちらでもない
4 あまりそう思わない 5 そう思わない

Q17 貴社は現在、どのような浜田市の行政情報が貴社の事業に有益となっていますか。ご自由にお書きください。

$$[\quad]$$

Q18 貴社は将来、どのような浜田市の行政情報があれば、貴社の事業に有益となりますか。ご自由にお書きください。

$$[\quad]$$

アンケートは以上で終了です。ご協力頂き、誠にありがとうございました。

(差し支えなければ、責任者を救済できなかった。)